

米・イランは覚え書きから 戦争終結に進め！ イスラエルはレバノン攻撃をやめよ！

トランプ大統領は、とうとう一方的に仕掛けたイランに対する戦争を終わらせる決断をしました。双方は「戦争終結の覚え書き」を確認し19日に署名します。この「覚え書き」の内容は米国の敗北を示しています。米国は戦争の目的であった政権打倒も、核開発能力の剥奪も何も実現できないままです。逆にレバノンを含む全地域での戦闘終結、イランの主権尊重、封鎖解除や経済制裁の解除、封鎖してきたイランの資金の返還、3千億ドルのイラン復興資金などを認めざるを得ませんでした。私たちは、米国とイランがこの「覚え書き」に従って交渉を続け、本当の戦争終結に進むことを求めます。

イスラエルは停戦破壊をやめろ！

しかし、覚え書きの確認から戦争終結への道は簡単ではありません。何よりもイスラエルがこの合意を破壊し、戦争を継続させたいと必死になっています。ネタニヤフは覚え書き合意後もレバノンで攻撃を続け、撤退を拒否しています。戦争を願い続け、他国を侵略し続けるとんでもない国です。トランプの制止にもかかわらず、イスラエルが戦争を止めなければ覚え書き合意は破綻します。さらに今後60日間最終合意に向けて交渉が続きますが、トランプ大統領が手のひらを返して再び戦争に舵を切る可能性も否定できません。彼は、言い分が通らなければ戦争再開だと言っています。米国、イスラエルに世界中から圧力をかけて覚え書きから戦争終結に進むことを突きつけなければなりません。

イスラエルはガザ、ヨルダン川西岸での攻撃をやめろ

レバノンだけではなく。ネタニヤフ首相は、ガザでは60%に達している占領支配地を70%に拡大せよと命じました。「停戦」以来ガザの住人の千人以上を殺してきました。その多くが女性や子どもです。イスラエルはガザへの人道支援物資の搬入も妨害し、医療崩壊と食料不足を深刻化させています。

ヨルダン川西岸では、軍が極右の暴力的な入植者と一緒になってパレスチナ人を追い出して土地を奪っています。死刑が廃止されているイスラエルで、パレスチナ人だけを死刑にする驚くべき法律を実施に移しました。イスラエルはもうナチスのような国になっています。

戦争国家イスラエルを許しておいては中東に平和は来ません。国際的な声で米とイスラエルの侵略行動を非難し、戦争をやめさせましょう。ジェノサイド国家イスラエルに対する国際的ボイコットを強め一層孤立させましょう。日本政府に対してイスラエルとの一切の協力、とりわけ軍事協力をやめ、武器の輸入を行わないよう要求しましょう。

米イランが合意したとされる「覚え書き」の14項目

1	レバノンを含むすべての戦線での戦争の即時かつ恒久的な終結を宣言
2	互いの主権と領土保全を尊重し、内政に干渉しない
3	最終合意は延長可能な最長60日以内に交渉し、合意する
4	米国は直ちに対イラン海上封鎖を解除。最終合意後30日以内に周辺地域から軍隊を撤退
5	イランは機雷無力化の必要性を考慮。30日以内にペルシャ湾の船舶往來を戦前の水準に戻す
6	イランの復興と経済発展のための包括的計画を策定。少なくとも3000億ドルを確保
7	米国は今後合意される日程に従ってあらゆる対イラン制裁措置を解除
8	イランは核兵器を決して製造しない。核物質や核関連問題への対処は最終合意で適切に対処
9	イランは核開発計画に関して現状を維持。米国は追加制裁や軍事力増強をしない
10	米国はイラン産原油や派生物の輸出に対する制裁免除措置を発行
11	米国は最終合意の交渉の進展を踏まえてイランの凍結資産を解放
12	イランと米国は最終合意の履行や順守を監督するためのメカニズムを確立
13	覚え書きの第4、5、10、11項の実施開始と保証がされた後、最終合意の交渉に入る
14	最終合意は国連安保理の拘束力のある決議によって承認

※米イランが合意したとされる「覚え書き」の14項目

米イランが合意したとされる「覚え書き」の14項目

黒枠、下線部分が即座に実施される部分

ライブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com 2026年6月18日

